

都市全体の構造を見直し、3つの市街地が連携する “ネットワーク型コンパクトシティ”の形成を目指して 「下野市立地適正化計画」を策定しました

■問い合わせ先 都市計画課 ☎(32)8909

市では、平成27年度から平成30年度の4年間で「立地適正化計画」を策定し、平成31年3月に公表しました。

本計画の施行開始により、都市機能誘導区域外及び居住誘導区域外で建築物を建築する際には、届け出を必要とする場合がありますので、市民の皆様と事業者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

1. 立地適正化計画とは

持続可能な都市構造への再構築を目指し、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するため、おおむね20年後の都市の姿を展望して策定する計画です。

これからのまちづくりにおいては、少子高齢化の進展や将来的な人口減少、道路や公園等の都市基盤の老朽化等への対応、環境負荷の少ない災害に強い安全・安心なまちづくりの推進、拡大型から安定・成熟型の都市への転換など、多様化する都市の課題に対応することが求められています。

2. 計画策定の背景と目的

本市の人口は、現時点では約6万人と、人口規模は県内でも中位ですが、今後は、横ばいで推移した後に徐々に減少していき、2040年には約5万1千人になることが見込まれます。(一般財団法人計量計画研究所推計)

このため、都市計画区域を対象に、人口が減少する地区や高齢化が進む地区への対応を目的として、生活サービス機能を計画的に誘導するため、拠点性を有するエリアを設定し、一定のエリアで人口密度を維持していくこととしました。

また、民間活力による維持・誘導する仕組みを構築し、公共施設の再配置などを一体的に進めることで、暮らしに必要なサービスや居住環境の確保を図ります。

3. 下野市立地適正化計画の概要

市内にある3つの鉄道駅を、都市機能の集積拠点となる核として相互に連携することを目指し、それらを公共交通でつなぐネットワーク型コンパクトシティの形成を図ることを目指します。

都市機能誘導施設の設定については、現在の施設立地状況と各区域で都市機能を誘導することの必要性を踏まえて設定します。

区分	各駅の都市機能誘導区域内で求められる都市機能	都市機能誘導区域の主な誘導施設
①石橋駅 周辺	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化する公共公益施設の機能確保が必要 既に集積がみられる医療機能、商業機能、公共公益機能を維持することが必要 	社会福祉施設、商業施設、教育文化施設(公民館等)、医療施設
②自治医大駅 周辺	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流を増進する施設が必要(教育文化施設等) 郊外に立地する社会福祉機能の誘導が必要 既に集積がみられる医療機能、商業機能、公共公益機能を維持することが必要 	社会福祉施設、商業施設、教育文化施設(複合コンベンション施設等)、医療施設
③小金井駅 周辺	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の定住につながるよう、他区域に比べて多く立地する子育て機能を引き続き維持していくことが必要 	社会福祉施設、商業施設、医療施設